

第45期 中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日



代表執行役 執行役社長
兼取締役 木川 理二郎

■第2四半期の連結業績(累計)

区 分	連結(前年同期比)
売 上 高	4,541 (109%)
営 業 利 益	471 (92%)
経 常 利 益	455 (97%)
四半期純利益	222 (95%)

単位:億円 [億円未満四捨五入]

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第45期第2四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)の概況についてご報告申し上げます。

当年度前半における当連結グループを取り巻く事業環境は、米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱により、米国に加え、日本、欧州、アジアの一部においても景気は弱含んで推移しており、世界経済は総じて減速してまいりました。

このような情勢の中で、当連結グループでは、中期経営計画(平成19年度から平成22年度まで)の2年目を迎え、引き続き「世界の建設機械総合メーカーとして不動の“ビッグ3”の市場地位の確保」「業界最高水準の利益体質の実現」を基本方針とし、各施策に取り組んでまいりました。

製品面では、中期経営計画で、次なる基軸製品として注力しているホイールローダにおいて、ミニホイールローダ6機種を新たに発売するなど、製品ラインアップの充実に取り組んでまいりました。

生産体制においては、拡大するマイニング(鉱山)市場に対応するため、茨城県の常陸那珂臨港工場を本格稼働し、大型・超大型油圧ショベル、マイニングダンプトラックの生産能力を大幅に増強しました。

販売面では、新型油圧ショベル「ZAXIS-3型」シリーズ、新型ホイールローダ「ZW」シリーズの高機能、低燃費性能を訴求し、鋼材価格の高騰などに伴う資材費上昇に対応した製品価格の改定に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計の連結業績は、売上高は4,541億円(前年同期比109%)、経常利益は455億円(前年同期比97%)となりました。

中間配当金につきましては、前年度中間期20円に対し2円増配をし、1株につき22円とすることを去る10月28日の取締役会において決議いたしました。

今後の動向を見ますと、世界的な金融市場の混乱、為替、原材料価格の変動など不安定な状況が続くものと考えられます。

建設機械については、米国、欧州市場の需要動向に加え、先進国需要の減少を補ってきた新興国市場の需要動向にも注視する必要があり、予断を許さない状況が続くものと思われます。需要変動に応じた柔軟な生産対応および徹底した在庫管理を行ってまいります。

一方、マイニング(鉱山)機械については、現在のところ、堅調な受注状況で推移している中、本格稼働を開始した常陸那珂臨港工場における生産能力を最大限活用し、売上の拡大を図ってまいります。

当社は、当連結グループが果たすべき企業の社会的責任の重要性を常に念頭に置き、現在推進中の中期経営計画の目標達成に邁進し、ブランド力の強化を図り、もって企業価値の増大並びに株主価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年11月

■ 事業別連結売上高の概況

【建設機械事業】

建設機械事業の売上高は、
4,071億9千2百万円（前年同期比109%）となりました。

建設関連製品については、新型油圧ショベル「ZAXIS-3型」シリーズ、新型ホイールローダ「ZW」シリーズの一層の拡販に取り組みました。また、圧倒的な経済性能（低燃費）と「グローバルe-Service」システムを利用した高いサービス力を訴求し、売価アップに取り組みました。

一方、活況を呈する資源需要に対応するため、新製品として、環境配慮型の新エンジンを搭載した「EX1200-6型」、AC（交流）駆動方式の採用により高い走行性能を実現したマイニングダンプトラック「EH3500ACⅡ」の販売を開始しました。平成20年8月に竣工した常陸那珂臨港工場で大型・超大型油圧ショベル・マイニングダンプトラックの生産を開始し、増産体制を整えることができました。

【産業車両事業】

産業車両事業の売上高は、
461億8千7百万円（前年同期比116%）となりました。

TCM株式会社では、新製品として業界トップクラスの1充電当たり9時間稼動を可能にしたバッテリー式フォークリフト「FRB-VⅢ」シリーズを新発売いたしました。

生産面では、堅調な中国市場へ効率的な製品供給を目的として、中国にかねてより建設を進めてきた新工場が完成し、平成20年7月から稼動を開始しました。この中国新工場では、小型から10t積みの大型フォークリフトまで各最新モデルの生産を行う他、中国仕様車の生産も並行して行います。また、同じ敷地内の鋳物工場では、フォークリフト後部に取り付けるカウンタウエイトの製造も行っており、新工場以外の生産拠点へのカウンタウエイト供給を開始しました。

【半導体製造装置事業】

半導体製造装置事業の売上高は、
6億7千3百万円（前年同期比66%）となりました。

日立建機ファインテック株式会社では、車載用半導体メーカー及び電子部品メーカー向けに超音波検査装置を拡販すると共に、海外大手半導体メーカーには、原子間力顕微鏡の拡販に努めました。

なお、日立建機ファインテック株式会社は、同社がこれまで培った電気・電子分野の先端技術を集約することにより、日立建機グループ製品の高度化と開発力の強化を目指すため、平成20年10月1日付で日立建機株式会社に吸収合併しました。

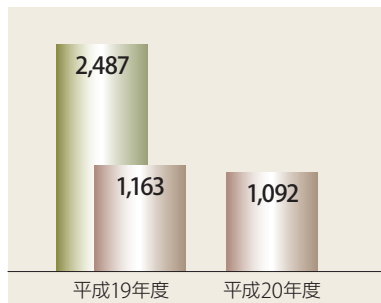


EX1200-6

EH3500ACⅡ

地域別連結売上高の概況

■ 年度 ■ 第2四半期累計 単位:億円 [億円未満四捨五入]



【日本】

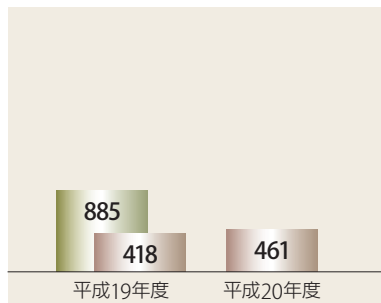
建設投資の減少に加え、景気の先行き不安等による経営者の投資マインドの冷え込みなどにより、需要は、前年同期を下回りました。

需要環境が悪化する中で、当連結グループは販売・サービス・レンタル連携のRSS体制強化により、解体・スクラップ等各種産業分野への展開と売価改善に積極的に取り組みました。

また、レンタル事業に関しては、平成20年4月より「レック」8社を統合し、商号を「日立建機レック株式会社」として新たな体制により運営を行ってまいりました。

レンタル資産の適正配置、効率的なレンタル資産の移動など、統合効果の発揮によりレンタル事業の一層の強化を図ってまいりました。

売上高は1,092億円（前年同期比94%）となりました。

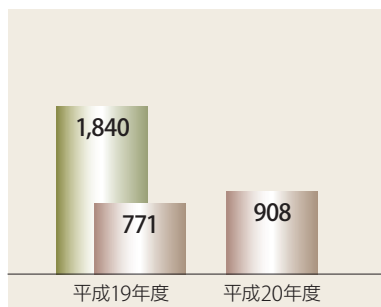


【米州】

第1四半期に引き続き、住宅投資が減少し、油圧ショベル等の建設機械需要は前年同期を下回りました。

一方、ディア日立コンストラクションマシナリーCorp.は平成20年3月末までに在庫調整済みであり、第2四半期の生産はほぼ計画通りとなりました。

油圧ショベルのシェアも前年より改善できたことから、売上高は、461億円（前年同期比110%）となりました。

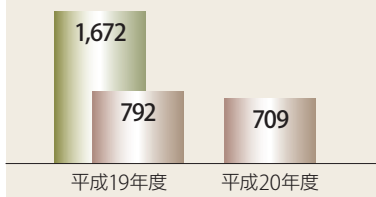


【豪州・アジア】

インドネシアでは、林業・パームオイル向けの建設機械需要は依然好調に推移しており、資源開発需要も活発です。一方、インドにおいては、油圧ショベルの需要は第1四半期において前年同期を大きく上回りましたが、インフラプロジェクトの遅延、インフレ抑制による金融引き締めなどによる影響があり、伸び率が鈍化が見られます。

豪州・アジアの売上高は908億円（前年同期比118%）となりました。

欧州



【欧州、ロシアCIS・アフリカ・中近東】

欧州では、米国の金融問題の影響による住宅投資の減少等から、油圧ショベルをはじめとする主な建設機械の需要は、全域で大幅に減少しています。

第1四半期までは、堅調に推移していたドイツ、フランスについても、金融不安の影響による投資意欲の減退等が見られ、需要は減少傾向に転じております。

また、イギリスについては、一段と景況感が悪化し、油圧ショベル需要は更に減少致しました。

このような中で、当連結グループはこれまで以上に業種別営業の強化、ニーズの高いホイール系機種種の市場投入強化、代理店支援の強化などの諸施策を推進し、シェアを改善することができました。

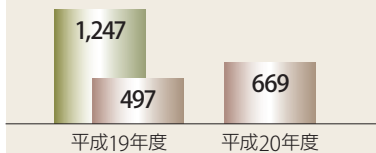
売上高は709億円（前年同期比90%）となりました。

ロシアCISでは、特にロシアにおいてグルジア問題を機に欧米資本の撤退もあり、加えてインフレ懸念、原油価格の低下等により景気が減速し、油圧ショベル需要は第1四半期に比べ、伸び率は急激な鈍化傾向にあります。それに伴い現地代理店を含め、在庫調整を推進中であります。

一方、アフリカでは、インフラ投資や鉱山開発などにより、マイニング（鉱山）機械を含む油圧ショベル需要は好調に推移しています。

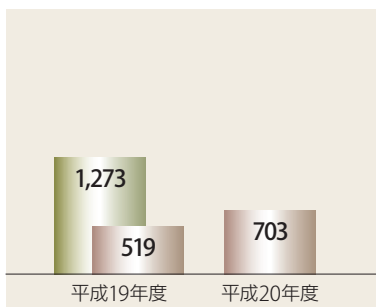
中近東では、トルコにおいて、年初の税制変更の影響で油圧ショベル需要低下が続いておりますが、サウジアラビア、イラク、クウェートなど湾岸諸国の経済活動は活発で、油圧ショベル需要は増加傾向を維持しています。その結果、中近東全体で前年同期を上回っています。以上、ロシアCIS・アフリカ・中近東地域の売上高は669億円（前年同期比135%）となりました。

ロシアCIS・アフリカ・中近東



【中国】

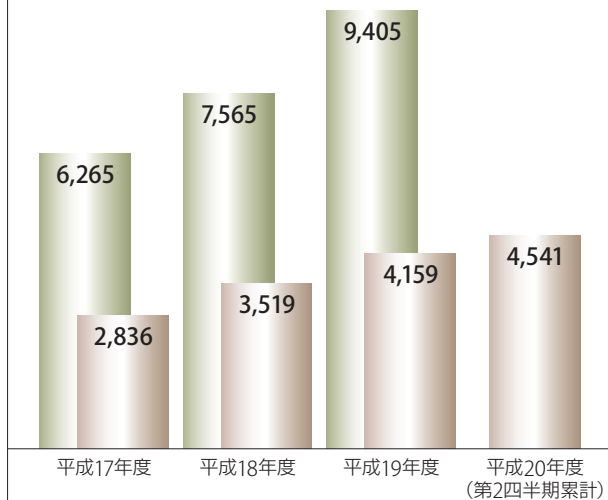
中国では、華東、華中南地域で金融引締め等による影響で伸びの鈍化が見られますが、内陸部を中心として社会インフラ整備、資源開発投資などにより油圧ショベル需要は、全体で前年同期を上回っています。また、現地生産に加え日本からの輸出売上也堅調に推移し、売上高は703億円（前年同期比136%）となりました。



連結業績の推移

■ 年度 ■ 第2四半期累計 単位：億円 [億円未満四捨五入]

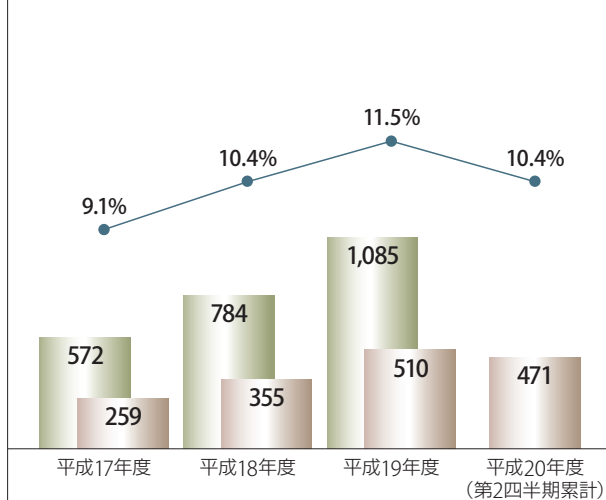
売上高



■ 年度 ■ 第2四半期累計 単位：億円 [億円未満四捨五入]

営業利益

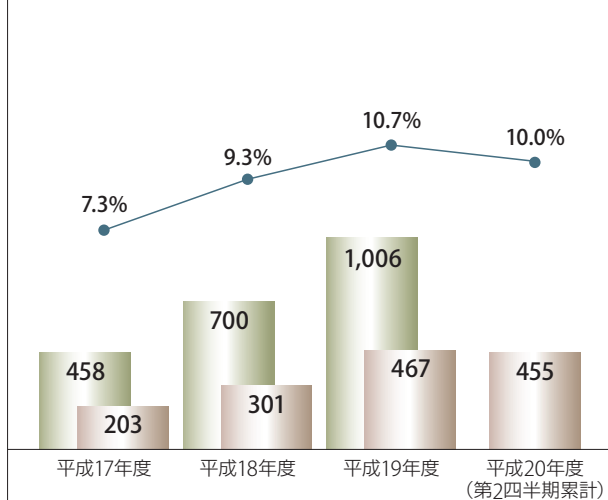
● 売上高営業利益率



■ 年度 ■ 第2四半期累計 単位：億円 [億円未満四捨五入]

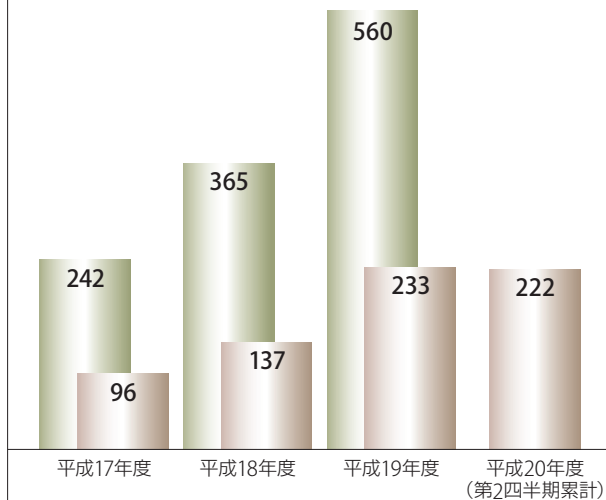
経常利益

● 売上高経常利益率



■ 年度 ■ 第2四半期累計 単位：億円 [億円未満四捨五入]

純利益



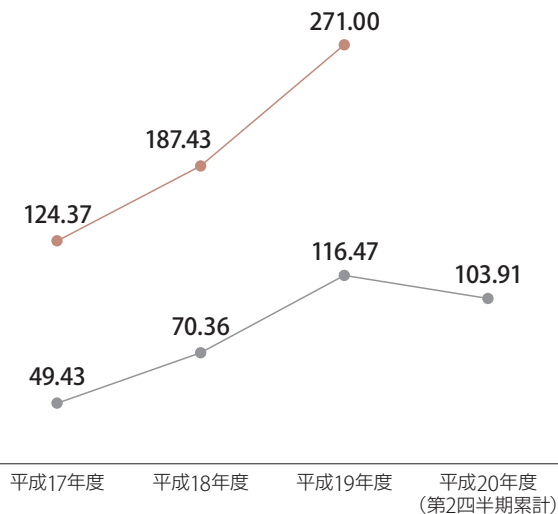
■ 総資産 ■ 純資産 単位:億円 [億円未満四捨五入]

■ 総資産／純資産



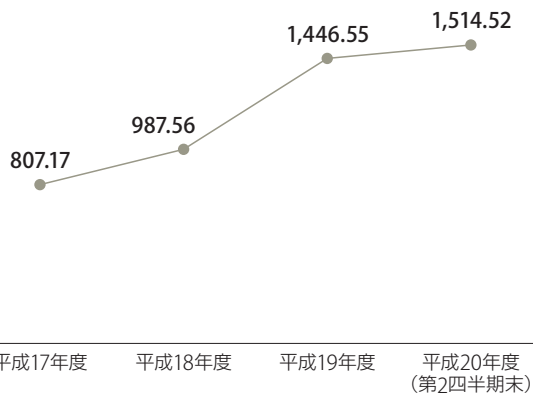
● 年度 ● 第2四半期累計 単位:円

■ 1株当たり純利益



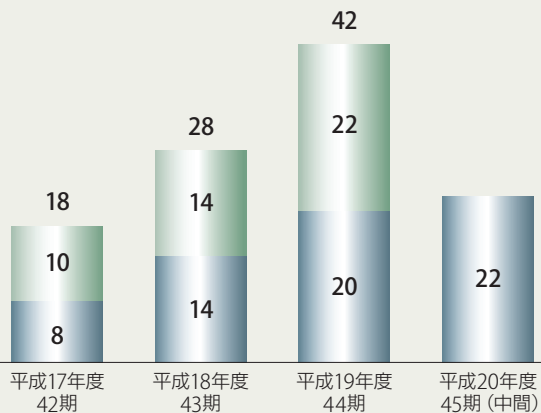
単位:円

■ 1株当たり純資産額



■ 期末 ■ 中間 単位:円

■ 1株当たり配当金



連結貸借対照表

[百万円未満四捨五入]

科 目	当第2四半期末 平成20年9月30日現在	前第2四半期末 平成19年9月30日現在
(資 産 の 部)		
流 動 資 産	588,870	533,023
現金及び預金	43,810	41,262
受取手形及び売掛金	222,139	184,330
たな卸資産	264,213	219,777
その他の流動資産	66,150	94,530
貸倒引当金	△7,442	△6,876
固 定 資 産	297,972	252,785
有 形 固 定 資 産	222,536	182,057
賃貸用営業資産	40,136	35,434
建物及び構築物	60,844	45,977
機械装置及び運搬具	44,412	32,944
土 地	54,825	54,643
その他の有形固定資産	22,319	13,059
無 形 固 定 資 産	22,721	18,132
投資その他の資産	52,715	52,596
投資有価証券	27,714	30,634
その他の投資等	26,680	23,463
貸倒引当金	△1,679	△1,501
資 産 合 計	886,842	785,808

科 目	当第2四半期末 平成20年9月30日現在	前第2四半期末 平成19年9月30日現在
(負 債 の 部)		
流 動 負 債	418,174	374,537
支払手形及び買掛金	180,001	169,913
短期借入金	148,431	113,988
一年以内に償還予定の社債	3,500	10,300
その他の流動負債	86,242	80,336
固 定 負 債	101,735	82,023
社 債	1,500	5,000
長期借入金	59,823	45,339
退職給付引当金	11,811	12,102
その他の固定負債	28,601	19,582
負 債 合 計	519,909	456,560
(純 資 産 の 部)		
株 主 資 本	328,335	283,545
資 本 金	81,577	81,577
資 本 剰 余 金	81,084	81,084
利 益 剰 余 金	168,405	122,661
自 己 株 式	△2,731	△1,777
評 価 ・ 換 算 差 額 等	△4,354	10,536
新 株 予 約 権	634	217
少 数 株 主 持 分	42,318	34,950
純 資 産 合 計	366,933	329,248
負 債 純 資 産 合 計	886,842	785,808

連結損益計算書

[百万円未満四捨五入]

科 目	当第2四半期累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	前第2四半期累計期間 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日
売 上 高	454,052	415,926
売 上 原 価	328,554	291,809
販売費及び一般管理費	78,369	73,132
営 業 利 益	47,129	50,985
営 業 外 収 益	7,363	5,360
営 業 外 費 用	9,040	9,684
経 常 利 益	45,452	46,661
特 別 損 失	740	0
税金等調整前四半期純利益	44,712	46,661
法 人 税 等	16,274	18,579
少 数 株 主 利 益	6,213	4,747
四 半 期 純 利 益	22,225	23,335

連結キャッシュ・フロー計算書

[百万円未満四捨五入]

科 目	当第2四半期累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	前第2四半期累計期間 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	5,169	1,780
投資活動による キャッシュ・フロー	△35,974	△28,047
財務活動による キャッシュ・フロー	6,245	76,179
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△356	642
現金及び現金同等物 の増減額	△24,916	50,554
現金及び現金同等物 期首残高	68,726	41,074
非連結子会社合併による現金 及び現金同等物の増加高	0	37
現金及び現金同等物 四半期末残高	43,810	91,665

中間配当金のご案内

平成20年度剰余金の配当（中間配当金）は、平成20年10月28日開催の取締役会において、当社定款第34条の規定に基づき、平成20年9月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり支払うことを決議しました。

■ 剰余金の配当（中間配当金）

1株につき金22円

■ 支払請求権の効力発生日並びに支払開始日

平成20年12月1日

双腕作業機 ASTACO

～2本の腕（アーム）で、複雑かつ繊細な作業を実現～

油圧ショベルは、バケットを装着し地面を掘削するだけでなく、ものを掴んだり、切断する装置をアタッチメントとして装着することにより、土木工事以外の現場でも用途が拡大しています。

様々な現場で高度な作業性能が要求される中、腕（アーム）を2本にすることにより、複雑かつ繊細な作業を飛躍的に実現した双腕作業機「ASTACO（アスタコ）」をご紹介します。

ASTACOは、一方の腕で対象物を掴みながら、もう一本の腕で切断するなど、これまでの機械では難しかった作業を可能にしました。

本年6月には総務省消防庁の「消防防災ロボット・高度な資機材等の研究開発、実用事例」で優秀賞を受賞しました。

■様々な分野に適用可能

産業廃棄物の処理

掴みながら
切断



解体

長い物を
折り曲げる



地震など災害復旧
（訓練画像）

重量物を
支持しながら救助



ASTACO（アスタコ）とは、スペイン語でザリガニの意味であり、シルエットがザリガニに似ていることから名づけられました。

ミニホイールローダ6機種発売・

～ZWシリーズのラインアップが大幅に充実～

現在推進中の中期経営計画「創2010-For The New Stage-」（平成19年度～平成22年度）において、次なる基軸製品として注力しているZWホイールローダシリーズに、ミニホイールローダ6機種をラインアップしました。

ホイールローダの世界市場は、油圧ショベルに次ぐ規模を有しており、グローバルモデルであるZWシリーズの充実により、一層の拡販に取り組んでまいります。



機能美と力強さを表現した
個性的なボディスタイル

ZW30



ZW40



フルオープン的大型ボンネットで
日常点検が容易に

ZW50

◆グッドデザイン賞受賞

ZW30、40、50の3機種が（財）日本産業デザイン振興会主催の本年度グッドデザイン賞を受賞しました。

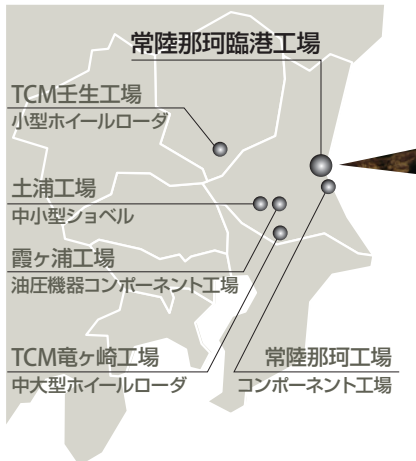
快適な操作性と居住性、ハイレベルな安全性、容易なメンテナンス性、そして環境面への配慮など、高度な基本性能を徹底追及した結果、機能美溢れるシルエットを実現しました。

常陸那珂臨港工場が本格稼働・

～ 拡大するマイニング市場へ対応～

常陸那珂臨港工場は、需要が好調なマイニング（鉱山）向け大型・超大型油圧ショベル及びマイニングダンプトラックの生産拠点となる新工場であり、本格稼働により生産能力が大幅に増強されました。

また、国際港湾の茨城県常陸那珂港に隣接している地の利を生かし、機械をこれまでより少ない分解により運搬し船積みすることから、輸送コストの削減が可能となりました。



大型組立工場 超大型組立工場 製缶・機械工場

当工場においては、世界の鉱山より引き合いを頂いているAC（交流）駆動方式の新型ダンプトラックの量産も行います。

日立建機は、拡大するマイニング（鉱山）市場に対応し、信頼性・耐久性の高い製品及び環境に配慮した製品を供給してまいります。



ACドライブシステムを搭載したEH3500AC II



世界の鉱山で活躍する超大型油圧ショベルとマイニングダンプトラック

中山由起枝選手が北京オリンピックで活躍

～日本人女性として過去最高の4位入賞～

中山選手（日立建機クレー射撃部所属）は、シドニーオリンピックの後一度引退しましたが、出産・育児を経て平成15年に再び現役復帰しました。「クレー射撃はメンタルが9割。何事にもぶれないようメンタルの持久力を養わなければなりません。」とのコメントのとおり、『ママは強い』と自分に言い聞かせ、北京オリンピックで世界の並居る強豪を相手に堂々の4位入賞を果たしました。



標的を狙う中山選手



集中する中山選手



メダルを賭けた競射

中山 由起枝 選手 主な戦績

平成12年 3月	ワールドカップシドニー大会（オーストラリア） 【優勝】日本人初
9月	シドニーオリンピック【出場】
平成18年 9月	全日本女子選手権【優勝】
平成19年 4月	ワールドカップチャンオン大会（韓国） 【優勝】北京オリンピック日本人出場枠獲得
平成20年 8月	北京オリンピック【4位】日本人女性最高

◆クレー射撃トラップとは

自らの合図（掛け声）に機械が反応し、射台の15m先から飛び出すクレー（皿状の標的）を撃つ競技。1枚のクレーに対して撃てる弾は2発。6人で1グループとなり、横に並んだ5つの射台を順に移動し、5巡して1ラウンド。計25枚のクレーを狙う競技のことです。

また、撃った瞬間に体を襲う反動は1トンとも言われており、1発毎にその衝撃を受け、硝煙が白くくすぶり、ごう音が響く中で淡々と行われていくのが、この「クレー射撃」です。

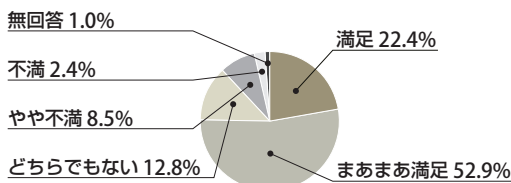
アンケート結果

平成20年6月に、株主様へのアンケート調査を実施させて頂きました。今回の調査では、株主様へ38,981通のアンケートを発送させて頂き、7,805通のご回答を頂きました。

この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

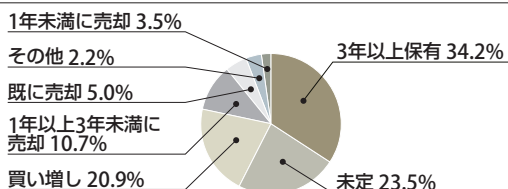
お寄せいただいた皆様のご意見を当社で集計させて頂きました。その中で、代表的なものを下記にご紹介させて頂きます。

株主様として 当社への評価はいかがですか？



「満足」「まあまあ満足」の主な理由は...「将来性・成長性」「株価」
「不満」「やや不満」の主な理由は.....「株価」
というご意見が寄せられました。

今後、当社株式について どのような方針をお持ちですか？



今後、当社のIR活動に対して 求めることは何ですか？

① 広告やテレビコマーシャル・ラジオ等を活用した 企業メッセージの発信	33.5%
② 工場見学会の開催	29.9%
③ 個人株主向け会社説明会の開催	22.3%

頂いたコメント

(原文のまま記載)

- 世界のブランドとして、全世界を相手に業績を伸ばし、研究開発に力をいれてください。
- 引き続き業績進展を実施し株価上昇を期待する。
- 配当性向アップと株価上昇が期待できるようにお願いしたい。
- 株価の割りに配当金が低い。配当金を増やし、長期保有の個人投資家をふやそう。
- 配当さえ良ければ売る気のしない貴社の株！
- 各地での個人株主説明会の開催を期待します。
- 今後の経営戦略を分かりやすくPRして欲しい。
- TVコマーシャル強化。社会貢献。社会認知度高まる。
- 投資の世界は巨大ファンドの時代であるようだが、企業は個人にモテるような企業であって欲しい。「社外持株会」のようなファンの集まりであるグループ作りを。
- より一層の社会貢献と環境問題への積極的なとりくみに期待します。

以上のように株主様から貴重なご意見を頂き、あらためて御礼申し上げます。

これからも日立建機は、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、より一層の努力をしております。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

工場見学会のお知らせ

株主工場見学会を下記の通り土浦工場（茨城県土浦市）で開催致します。
多くの皆様のご応募をお待ちしております。

見学会概要

- 見学場所 土浦工場（茨城県土浦市）
土浦工場は当社油圧ショベルの開発・生産の主力工場です。
- 開催日時 平成21年2月20日（金）13時30分～17時（予定）
- 対象者 当社株主の方（同伴者1名様まで可）
- 集合、解散 土浦駅（JR常磐線）
- 参加費 無料。（但し、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。）

応募方法 右記の通り、郵便葉書に必要事項をご記入の上、ご応募ください。

■ 締切日 **平成20年12月20日（当日消印有効）**

■ 募集人員 80名様（同伴者含む）

※応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。**当選発表につきましては、当選者へのご連絡（平成21年1月中旬発送予定）をもって代えさせていただきます。**その際、当日のスケジュール等詳細をご連絡いたします。

※ご応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用します。

※ご見学時は、工場内を一時間程度お歩き頂きますので、ご了解ください。

50円 切手	郵便はがき						
	1	1	2	8	5	6	3
工場見学会係 行	コーポレートコミュニケーション部	日立建機株式会社	東京都文京区後楽一丁目5番1号				

<宛名面>

- 郵便番号
- ご住所
- 電話番号
- お名前
(ふりがなをご記入ください)
- 性別
- 年齢
- 同伴者の
郵便番号、ご住所、電話番号
お名前、性別、年齢、

<裏面>

お問い合わせ先 日立建機株式会社 コーポレートコミュニケーション部 IRグループ

電話番号 **03-3830-8065**（土・日、祝祭日、当社休日を除く）

会社の概要

平成20年9月30日現在

商号／日立建機株式会社

Hitachi Construction Machinery Co.,Ltd.

本店所在地／東京都文京区後楽二丁目5番1号

資本金／81,576,592,620円

従業員数／3,781名

ホームページ／<http://www.hitachi-kenki.co.jp>

(電子公告も上記ホームページよりアクセスいただけます。)



役員、委員会

平成20年9月30日現在

取締役会長 太 宰 俊 吾
代表執行役 執行役社長兼取締役 木 川 理 二 郎
代表執行役 執行役副社長兼取締役 中 浦 泰 彦
代表執行役 執行役副社長兼取締役 有 田 勝 利
執行役専務兼取締役 桑 原 信 彦
取締役 一 山 修 一
社外取締役 久 保 吉 生
社外取締役 上 野 健 夫
社外取締役 塚 田 實
執行役専務 茂 理 満 男
執行役専務 山 田 光 二
執行役専務 坂 井 徹
執行役常務 三 原 新 一
執行役常務 内 林 喜 一
執行役常務 本 間 隆 義
執行役常務 大 塚 照 政

執行役 水 谷 努
執行役 佐 藤 真
執行役 徳 川 義 和
執行役 徳 重 博 史
執行役 有 馬 幸 男
執行役 山 中 清 光
執行役 岩 瀬 善 美
執行役 田 部 井 三 浩

指名委員会 太 宰 俊 吾
木 川 理 二 郎
久 保 吉 生
上 野 健 夫
塚 田 實

監査委員会 一 山 修 一
久 保 吉 生
上 野 健 夫
塚 田 實

報酬委員会 木 川 理 二 郎
上 野 健 夫
塚 田 實

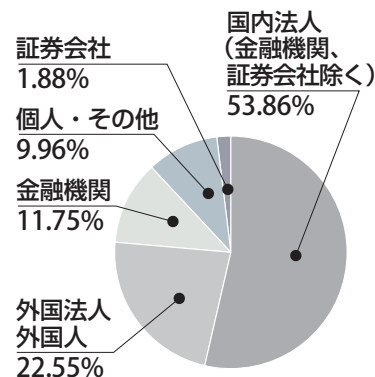
株式の状況 平成20年9月30日現在

発行済株式総数...215,115,038株 ■ 当期末現在株主数...40,254名

■ 大株主(上位10名)

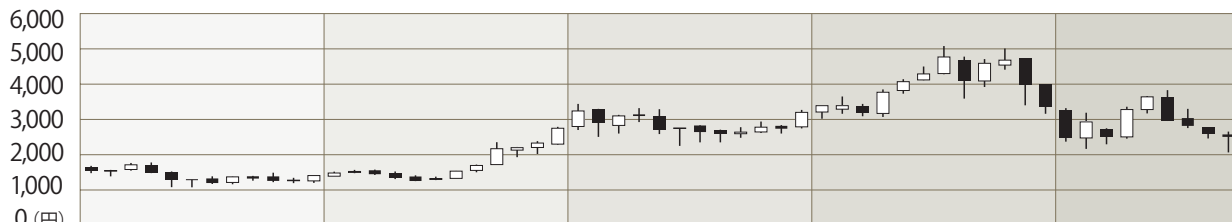
株主名	所有株式数	所有比率
(株) 日立製作所	107,581,270	50.01%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	9,485,800	4.41
資産管理サービス信託銀行(株)	4,351,500	2.02
日本マスタートラスト信託銀行(株)	3,753,100	1.74
ジーピー・モルガン・ジーティー・コーポレーション	2,700,000	1.26
ガバナー・アンド・カンパニー・オブ・バンク・オブ・アイルランド・クライアーツ	2,081,700	0.97
ノーザン・トラスト・グローバル・サービス・リミテッド・リノル・ウェル・ジョン・クライアーツ・アカウト	2,019,200	0.94
バンク・オブ・ニューヨーク・シエム・クライアーツ・アカウト・シエ・化・アル・ティ・エス・イー・イー	1,731,300	0.80
ザ・チェース・マンハッタン・バンク・エヌ・エイ・ロンドン・エス・エル・オムニバス・アカウト	1,688,655	0.79
ユー・ビー・エス・イー・ジー・ロンドン・アカウト・アイ・ピー・シー・セグレゲイテッド・クライアーツ・アカウト	1,641,100	0.76

■ 株式所有比率

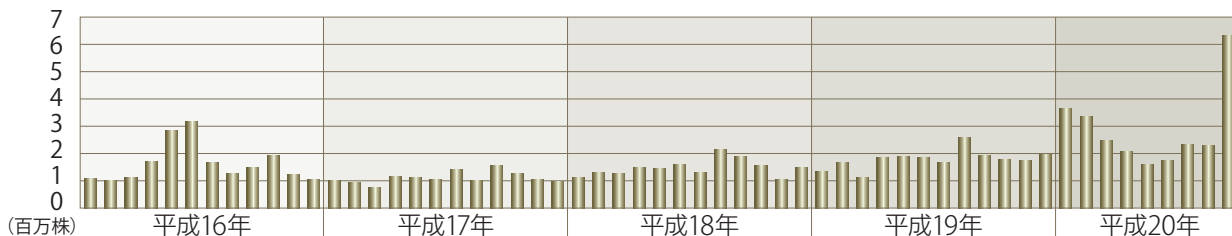


株価の推移 自平成16年1月 至平成20年9月

■ 東京証券取引所における株価チャート



■ 月別(1日あたり平均売買高)



■ 日立建機グループ

平成20年9月30日現在

国内の連結子会社34社

TCM(株)

(株)日立建機ティエラ

(株)日立建機カミーノ

日立住友重機械建機クレーン(株)

(株)新潟マテリアル

多田機工(株)

日立建機ファインテック(株) (注1)

タコム製造(株)

山梨日立建機(株)

沖縄日立建機(株)

日立建機レック(株) (注2)

日立建機コメック(株)

日立建機ロジテック(株)

日立建機ビジネスフロンティア(株)

日立建機トレーディング(株)

(株)日立建機教習センタ

日立建機リーシング(株)

他17社

(注1) 平成20年10月1日付で当社に吸収合併しました。

(注2) 連結子会社である(株)レック北海道、(株)レック東北、(株)レック関東、(株)レック甲信越、(株)レック中部、(株)レック関西OKG、(株)レック四国、(株)レック西日本の8社について、平成20年4月1日付で(株)レック関東を存続会社とする合併を行い、併せて商号を「日立建機レック株式会社」に変更しました。

国内の持分法適用関連会社9社

鈮研工業(株)

奥村機械(株)

(株)ソクト

他6社

海外の連結子会社29社

日立建機 (ヨーロッパ) N.V.

P.T. 日立建機インドネシア

日立建機 (中国) 有限公司

合肥日立建機工有限公司

日立建機トラックLtd.

日立建機アジア・パシフィックPte.Ltd.

日立建機 (上海) 有限公司

青島誠日立建機有限公司

日立建機租賃 (中国) 有限公司

ケーブルプライス (NZ) Ltd.

日立建機南部アフリカCo.,Ltd.

日立建機販売サービスフランスS.A.S.

P.T.ヘキシンドアディプルカサ Tbk

日立建機 (オーストラリア) Pty Ltd.

日立建機タイランドCo.,Ltd.

SHCM Service Co.,Ltd.

日立建機リーシング (タイランド) Co.,Ltd.

日立住友重機械建機起重機 (上海) 有限公司

日立建機ホールディングU.S.A.Corp.

日立建機 (マレーシア) Sdn.Bhd.

ヘビーコンストラクションマシナリーLtd.

他8社

海外の持分法適用関連会社8社

ディア日立コンストラクションマシナリーCorp.

P.T. 芝浦シャリングインドネシア

テルココンストラクションエクイップメントCo.,Ltd.

スカイS.p.A.

永日建設機械股份有限公司

他3社

■ 株主メモ

- 事業年度 ■ 毎年4月1日から翌年3月末日まで
剰余金の配当の基準日 ■ 毎年3月末日および毎年9月末日
定時株主総会 ■ 毎年6月開催
公告方法 ■ 電子公告 (<http://www.hitachi-kenki.co.jp>)
株主名簿管理人 ■ 東京証券代行株式会社
東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階)
取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行なっております。
- 郵便物送付先、連絡先 ■ 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目7番1号
東京証券代行株式会社 代行本部
電話 (0120) 49-7009 (フリーダイヤル)
- 諸届出用紙のご請求 ■ 自動音声応答による受付
電話 (0120) 16-5805 (フリーダイヤル)
インターネットによる用紙のご請求
ホームページ <http://www.tosyodai.co.jp>

■ 単元未満株式買取請求及び買増請求

単元未満株式の買取請求及び買増請求は、株主名簿管理人において受付けております。なお、株券電子化実施日前後の一定期間につきましては、単元未満株式買取請求及び買増請求のお取扱ができませんので、ご注意ください。

単元未満株式に係る手続きにつきましては、上記株主名簿管理人へお問い合わせください。

■ 今後の見通しに関する注意事項 ■

本誌の記載内容のうち、当社の将来に関する見通し、業績に関する計画などの歴史的事実ではないものについては将来予測であり、現在入手可能な情報から得られた会社の判断に基づいています。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。

日立建機株式会社

〒112-8563 東京都文京区後楽二丁目5番1号
<http://www.hitachi-kenki.co.jp>